

# 2022年7月のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2022年8月26日



## 1. 2022年7月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況：  
 ・板： 生産・出荷ともにマイナス。「缶材」「自動車」などの主要分野が減少したが、「印刷版」、半導体製造向け厚板を含む「その他」は前年比プラス。  
 ・押出： 生産・出荷ともにマイナス。「建設」はほぼ前年並みだが、「自動車」の減少が影響し、内需全体を押し下げた。  
 ・はく： 生産・出荷ともにマイナス。「電気機械器具」向け「食品良品向け」ともにマイナスとなった。

### ・板類（主な分野のコメント） \* 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 缶材 35,204トﾝ (▲ 6.0%)：DI缶、ボトル缶ともに減少。家飲み需要の減少に加え、昨年の東京五輪需要の反動減など複数要因により減少した。  
 (2) 自動車 12,300トﾝ (▲ 26.1%)：半導体不足の他、中国の都市封鎖による部品供給網の混乱が残っており、自動車生産台数が減少した。  
 (国内自動車生産台数の前年同月比推移：2月▲1.6%→3月▲17.3%→4月▲19%→5月▲14.5%)

### ・押出類（主な分野のコメント） \* 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 建設 36,174トﾝ (▲ 0.5%)：内外装はプラスだったが、サッシ向けは住宅着工戸数の減少に伴いマイナスとなった。  
 (2022年6月の新設住宅着工戸数：74,596戸(前年同月比▲2.5%))  
 (2) 自動車 9,633トﾝ (▲ 19.5%)：板同様、国内自動車生産の減少が継続している。

### ・はく（主な分野のコメント） \* 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 電気機械器具 5,081トﾝ (▲ 21.1%)：昨年が高水準だったこともあり、コンデンサ、リチウムイオン電池向けともにマイナスとなった。  
 (コンデンサ▲5.5%、リチウムイオン電池向け▲28.1%)  
 (2) 食料品 2,036トﾝ (▲ 0.1%)：マイナスだが製菓用、飲料用など一部の分野では前年比プラスとなった。

◎2022年7月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	98,688	▲ 3.6	3ヶ月連続でマイナス	板類	94,890	▲ 6.8	4ヶ月連続でマイナス
押出類	57,326	▲ 7.6	7ヶ月連続でマイナス	押出類	58,308	▲ 6.7	5ヶ月連続でマイナス
板押計	156,014	▲ 5.1	4ヶ月連続でマイナス	板押計	153,198	▲ 6.8	5ヶ月連続でマイナス
はく	9,515	▲ 14.5	5ヶ月連続でマイナス	はく	9,839	▲ 7.5	5ヶ月連続でマイナス